



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月9日

上場会社名 株式会社博報堂DYホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 2433 URL http://www.hakuhodody-holdings.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水島 正幸  
 問合せ先責任者 (役職名) IRグループマネージャー (氏名) 吉野 敦 (TEL) 03 (6441) 9033  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	653,032	12.1	36,109	△24.1	39,801	△21.0	20,156	△12.8
2022年3月期第3四半期	582,602	23.4	47,559	152.2	50,401	135.5	23,103	154.1

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 28,046百万円(△31.3%) 2022年3月期第3四半期 40,847百万円(36.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	53.95	53.94
2022年3月期第3四半期	61.84	61.84

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	1,029,669	399,188	36.1
2022年3月期	1,053,016	387,414	34.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 371,584百万円 2022年3月期 357,854百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	15.00	—	17.00	32.00
2023年3月期	—	16.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	940,000	5.0	51,000	△28.8	53,000	△30.0	26,000	△52.9	69.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	389,559,436株	2022年3月期	389,559,436株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	17,468,309株	2022年3月期	15,905,408株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	373,644,489株	2022年3月期3Q	373,581,159株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な原因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料4ページ「1.(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。四半期決算補足説明資料は当社ホームページ(<http://www.hakuhodody-holdings.co.jp/>)に掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年12月31日、以下「当第3四半期」)における日本経済は、内需が牽引する形での回復が基調としてありつつも、世界的な物価高騰と金融引き締め動き、中国経済の減速、急速な円安進行など先行きへの不安要素も多く、景気持ち直しの動きは限定的なものとなりました。

国内広告市場(注1)については、前年を上回ってスタートしましたが、夏場には東京五輪の反動影響が大きく前年を下回る状況となり、第3四半期以降も軟調な経済環境を受け、低調な動きが継続しております。

このような環境下、当社グループは、2024年3月期を最終年度とする中期経営計画に則り、積極的な事業展開を継続してまいりました。この結果、売上高(注2)は1兆1,243億92百万円(前年同期比8.2%の増収)、収益は6,530億32百万円(同12.1%の増収)と前年同期を上回りました。

当第3四半期の売上高を種目別に見ますと、メディア業務において4マスメディアが前年同期を下回った一方、インターネットメディア、アウトドアメディアでは前年同期から二桁の伸びとなりました。また、メディア以外の業務では、マーケティング/プロモーション等、前年同期から高い伸びとなりました。

また、得意先業種別では、「交通・レジャー」で前年からの反動減がありましたが、「官公庁・団体」、「外食・各種サービス」及び「金融・保険」で前年同期を大きく上回り、21業種中13業種が前年同期を上回りました。(注3)

売上総利益に関しても、2,768億74百万円(同6.7%増加)と前年同期より174億86百万円の増加となりました。なお、このうち国内事業については2,088億68百万円と1.6%の増益、海外事業についてはアジアにおける回復基調に加えて為替影響もあり、723億52百万円と28.8%の増益となりました。販売費及び一般管理費において、中期的な成長を見据えた戦略費の投下や活動費の戻りによる費用の増加があった結果、営業利益は361億9百万円(同24.1%減少)、為替差益11億91百万円の発生等があった結果、経常利益は398億1百万円(同21.0%減少)となりました。

これに特別利益25億85百万円及び特別損失15億34百万円を加味した税金等調整前四半期純利益は408億52百万円(同11.2%減少)となりました。また、法人税等の税金負担額183億89百万円及び非支配株主に帰属する四半期純利益23億6百万円を差し引いた結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は201億56百万円(同12.8%減少)となりました。

(注1)「特定サービス産業動態統計調査」(経済産業省)によります。

(注2)「売上高」は従前の会計基準に基づくものですが、財務諸表利用者にとって有用であると考えていることから、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等に準拠した開示ではないものの、自主的に開示しております。

(注3) 当社の社内管理上の区分と集計によります。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の資産は、前連結会計年度末に比べ233億46百万円減少し、10,296億69百万円となりました。主な増減は、受取手形及び売掛金の減少880億76百万円、のれんの増加316億10百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ351億20百万円減少し、6,304億81百万円となりました。主な増減は、支払手形及び買掛金の減少270億21百万円、賞与引当金の減少339億82百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ117億73百万円増加し、3,991億88百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の増加75億4百万円、その他有価証券評価差額金の減少73億8百万円、為替換算調整勘定の増加158億75百万円であります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末の現金及び現金同等物の残高は1,873億98百万円となり、前年同期より95億8百万円の増加(前連結会計年度末より67億1百万円の増加)となりました。

## &lt;営業活動によるキャッシュ・フロー&gt;

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益(408億52百万円)の計上、賞与引当金の減少(△339億96百万円)、売上債権の減少(1,025億82百万円)、仕入債務の減少(△380億46百万円)、預り金の増加(360億94百万円)、法人税等の支払(△479億85百万円)等の結果、509億98百万円の収入(前年同期は120億27百万円の収入)となりました。

## &lt;投資活動によるキャッシュ・フロー&gt;

投資活動によるキャッシュ・フローは、無形固定資産の取得による支出(△72億41百万円)、投資有価証券の取得による支出(△41億6百万円)、連結の範囲の変更を伴う子会社株式及び出資金の取得による支出(△58億50百万円)、子会社株式及び出資金の取得による支出(△86億30百万円)等があったため、269億89百万円の支出(前年同期は178億22百万円の支出)となりました。

## &lt;財務活動によるキャッシュ・フロー&gt;

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の減少(△38億60百万円)、長期借入金の返済による支出(△46億32百万円)、配当金の支払額(△117億92百万円)等があったため、244億58百万円の支出(前年同期は56億36百万円の収入)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点で、連結業績予想の見直しは行っておりません。

(注) 業績予想につきましては、当社が現時点で合理的と判断する一定の条件に基づき作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

(配当金予想について)

当社は、安定かつ継続して配当を実施することを基本としながら、資金需要の状況、業績の動向及び内部留保の充実等を総合的に勘案の上配当金額を決定することとしております。

また、期末の配当金予想については、従前予想から変更なく1株当たり16円、年間合計で前年同額の1株当たり32円といたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	183,983	191,894
受取手形及び売掛金	438,404	350,328
有価証券	28,537	20,699
金銭債権信託受益権	5,628	3,547
棚卸資産	46,203	63,916
短期貸付金	720	386
その他	52,129	64,442
貸倒引当金	△754	△738
流動資産合計	754,854	694,478
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	38,958	42,440
減価償却累計額	△18,996	△19,900
建物及び構築物（純額）	19,961	22,539
土地	9,684	9,651
その他	21,096	23,433
減価償却累計額	△13,618	△15,969
その他（純額）	7,477	7,464
有形固定資産合計	37,124	39,654
無形固定資産		
ソフトウェア	13,471	17,243
のれん	45,097	76,708
その他	13,747	18,207
無形固定資産合計	72,317	112,159
投資その他の資産		
投資有価証券	136,696	137,576
長期貸付金	674	671
退職給付に係る資産	9,383	9,772
繰延税金資産	9,893	1,072
その他	34,073	36,166
貸倒引当金	△2,000	△1,882
投資その他の資産合計	188,720	183,376
固定資産合計	298,162	335,191
資産合計	1,053,016	1,029,669

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	298,670	271,648
短期借入金	10,750	8,094
1年内返済予定の長期借入金	1,671	2,259
未払費用	20,790	22,290
未払法人税等	31,620	5,549
賞与引当金	54,094	20,111
役員賞与引当金	1,452	793
その他	86,588	136,609
流動負債合計	505,640	467,357
固定負債		
長期借入金	113,988	113,276
繰延税金負債	14,055	11,571
役員退職慰労引当金	537	569
退職給付に係る負債	14,947	15,201
事業整理損失引当金	175	136
その他	16,256	22,368
固定負債合計	159,961	163,123
負債合計	665,601	630,481
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,790	10,790
利益剰余金	319,758	327,263
自己株式	△11,372	△13,553
株主資本合計	319,176	324,500
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,418	32,110
繰延ヘッジ損益	1,561	1,227
為替換算調整勘定	256	16,132
退職給付に係る調整累計額	△2,558	△2,386
その他の包括利益累計額合計	38,678	47,083
新株予約権	225	226
非支配株主持分	29,335	27,377
純資産合計	387,414	399,188
負債純資産合計	1,053,016	1,029,669



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
収益	582,602	653,032
売上原価	323,214	376,157
売上総利益	259,387	276,874
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	94,878	108,293
退職給付費用	4,096	4,588
賞与引当金繰入額	20,755	19,051
役員退職慰労引当金繰入額	92	106
のれん償却額	8,070	9,990
貸倒引当金繰入額	△16	△137
その他	83,951	98,872
販売費及び一般管理費合計	211,828	240,765
営業利益	47,559	36,109
営業外収益		
受取利息	223	316
受取配当金	1,801	1,874
為替差益	118	1,191
投資事業組合運用益	328	465
その他	1,100	1,199
営業外収益合計	3,572	5,046
営業外費用		
支払利息	375	377
持分法による投資損失	31	218
その他	322	758
営業外費用合計	729	1,354
経常利益	50,401	39,801
特別利益		
投資有価証券売却益	663	1,125
事業整理損失引当金戻入額	67	-
関係会社株式売却益	0	501
権利譲渡収入	-	350
その他	74	609
特別利益合計	806	2,585
特別損失		
減損損失	-	36
投資有価証券評価損	207	268
特別退職金	4,231	523
その他	741	705
特別損失合計	5,180	1,534
税金等調整前四半期純利益	46,027	40,852
法人税、住民税及び事業税	16,008	7,742
法人税等調整額	4,005	10,646
法人税等合計	20,013	18,389
四半期純利益	26,014	22,463
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,910	2,306
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,103	20,156

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	26,014	22,463
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,559	△9,719
繰延ヘッジ損益	275	△645
為替換算調整勘定	3,947	15,245
退職給付に係る調整額	△9	172
持分法適用会社に対する持分相当額	60	529
その他の包括利益合計	14,833	5,583
四半期包括利益	40,847	28,046
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38,503	28,561
非支配株主に係る四半期包括利益	2,343	△515

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	46,027	40,852
減価償却費	6,535	8,255
減損損失	-	36
のれん償却額	8,070	9,990
事業整理損失引当金戻入額	△67	-
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,593	△33,996
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△316	△842
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	563	△87
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△42	31
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△148	△230
受取利息及び受取配当金	△2,024	△2,190
支払利息	375	377
為替差損益 (△は益)	△286	△739
持分法による投資損益 (△は益)	31	218
投資有価証券売却損益 (△は益)	△548	△1,094
関係会社株式売却損益 (△は益)	49	△298
投資有価証券評価損益 (△は益)	207	268
特別退職金	4,231	523
売上債権の増減額 (△は増加)	23,342	102,582
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△49,680	△16,783
仕入債務の増減額 (△は減少)	△20,353	△38,046
預り金の増減額 (△は減少)	6,950	36,094
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△66	58
その他	19,644	△6,128
小計	34,904	98,852
利息及び配当金の受取額	2,371	2,321
利息の支払額	△343	△331
特別退職金の支払額	△4,666	△1,859
法人税等の支払額	△20,239	△47,985
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,027	50,998

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△423	△1,661
定期預金の払戻による収入	1,443	903
有形固定資産の取得による支出	△3,425	△3,666
無形固定資産の取得による支出	△3,439	△7,241
投資有価証券の取得による支出	△6,170	△4,106
投資有価証券の売却による収入	4,010	1,587
出資金の払込による支出	△731	△2,683
連結の範囲の変更を伴う子会社株式及び出資金の取得による支出	△1,285	△5,850
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	1,975
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△17	△825
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	-	472
子会社株式及び出資金の取得による支出	△5,676	△8,630
敷金の差入による支出	△677	△1,047
敷金の回収による収入	498	838
長期貸付けによる支出	△66	△41
長期貸付金の回収による収入	75	25
金銭債権信託受益権の増減額 (△は増加)	△1,559	2,106
その他	△374	856
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,822	△26,989
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額 (△は減少)	20,150	△3,860
長期借入れによる収入	7,593	1,895
長期借入金の返済による支出	△6,815	△4,632
社債の償還による支出	△3	△3
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△529	△744
自己株式の取得による支出	△0	△2,341
子会社の自己株式の取得による支出	△2,010	△1,001
子会社の自己株式取得のための預託金の増減額 (△は増加)	△489	-
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	6	-
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式及び出資金の取得による支出	△600	△1,231
配当金の支払額	△10,702	△11,792
非支配株主への配当金の支払額	△1,068	△849
非支配株主からの払込みによる収入	106	107
その他	0	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,636	△24,458
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,006	7,330
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,847	6,880
現金及び現金同等物の期首残高	176,042	180,697
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	△179
現金及び現金同等物の四半期末残高	177,890	187,398

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日)(以下、時価算定会計基準適用指針)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間において、当社及び当社の連結子会社は、新聞、雑誌、ラジオ、テレビ、デジタルメディア等各種媒体における広告業務の取り扱い、及び広告表現に関する企画、制作並びにマーケティング、PR等のサービスの提供を主たる業務としており、事業を集約し単一セグメントとしているため記載を省略しております。

&lt;参考情報&gt;

I. 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)における地域別の業績及び海外収益の状況は、以下のとおりです。

i. 地域別の業績

(単位:百万円)

	日本	海外	計	消去 又は全社	連結
収益					
(1) 外部顧客からの収益	459,034	123,567	582,602	—	582,602
(2) セグメント間の内部 収益又は振替高	2,447	2,167	4,614	(4,614)	—
計	461,482	125,734	587,217	(4,614)	582,602
売上総利益	205,523	56,187	261,711	(2,323)	259,387
営業利益又は営業損失(△)	63,522	△4,228	59,293	(11,734)	47,559

ii. 海外収益

(1) 海外収益(百万円)	129,182
(2) 連結収益(百万円)	582,602
(3) 連結収益に占める海外収益の割合(%)	22.2

(注) 「海外」に区分される主な国又は地域

アメリカ、カナダ、ドイツ、イギリス、フランス、オランダ、トルコ、ロシア、中国、台湾、韓国、タイ、マレーシア、シンガポール、ベトナム、フィリピン、インド、オーストラリア

Ⅱ. 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)における地域別の業績及び海外収益の状況は、以下のとおりです。

i. 地域別の業績

(単位：百万円)

	日本	海外	計	消去 又は全社	連結
収益					
(1) 外部顧客からの収益	483,853	169,179	653,032	—	653,032
(2) セグメント間の内部 収益又は振替高	4,086	2,600	6,687	(6,687)	—
計	487,940	171,780	659,720	(6,687)	653,032
売上総利益	208,868	72,352	281,220	(4,346)	276,874
営業利益又は営業損失(△)	58,079	△5,851	52,227	(16,118)	36,109

ii. 海外収益

(1) 海外収益(百万円)	181,901
(2) 連結収益(百万円)	653,032
(3) 連結収益に占める海外収益の割合(%)	27.9

(注) 「海外」に区分される主な国又は地域

アメリカ、カナダ、ドイツ、イギリス、フランス、オランダ、トルコ、ロシア、中国、台湾、韓国、タイ、マレーシア、シンガポール、ベトナム、フィリピン、インド、オーストラリア

(重要な後発事象)

該当事項はありません。